NVR500

ブロードバンドVoIPルーター

はじめにお読みください

ヤマハNVR500をお買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に本書をよくお読みになり、
正しく設置や設定を行ってください。
本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。
本書はなくさないように、大切に保管してください。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、下記の注意事項をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。
4〜8ページに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠ 警告
この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意
この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
⚠ ⚠ ⚠ ⚠	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
⃠ ⃠ ⃠ ⃠ ⃠	「〜しないでください」という禁止を示します。
❗	「必ず実行してください」という強制を示します。

本書の表記について

略称について

本書ではそれぞれの社名・製品について、以下のように略称で記載しています。

- Yamaha NVR500：本製品
- Microsoft® Windows®：Windows
- Microsoft® Windows® XP：Windows XP
- Microsoft® Windows Vista®：Windows Vista
- Microsoft® Windows® 7：Windows 7
- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tケーブル：LANケーブル
- 東日本電信電話株式会社：NTT東日本
- 西日本電信電話株式会社：NTT西日本

設定例について

本書に記載されているIPアドレスやドメイン名、URLなどの設定例は、説明のためのものです。実際に設定するときは、必ずプロバイダから指定されたものをお使いください。

詳細な技術情報について

本製品を使いこなすためには、インターネットやネットワークに関する詳しい知識が必要となる場合があります。付属のマニュアルではこれらの情報について解説しておりませんので、詳しくは市販の解説書などを参考にしてください。

はじめに

お買い上げいただき、ありがとうございます。
本製品はギガビットのLANポート、およびTELポート、DSU、VoIPの機能を内蔵したブロードバンドVoIPルーターです。

付属品をご確認ください

- ACアダプタ(P12V/2.0A)
- スタンド(1個)
- はじめにお読みください(本書)
- 保証書(本書30ページ)
- CD-ROM (1枚)

本書の主な内容

他の説明書もご覧ください

本書は基本的な接続に必要な情報のみを記載しています

用途に合わせて、以下の説明書／ヘルプをご覧ください。

- **取扱説明書(CD-ROM)**：インターネットへの他の接続方法やVoIP通話、フィルタの設定、運用管理など、本製品を使いこなすための情報が記載されています。
- **コマンドリファレンス(CD-ROM)**：コンソールコマンドを用いた、より詳細な設定方法が記載されています。
- **「かんたん設定ページ」のヘルプ**：各設定画面の設定項目について、詳しい説明が記載されています。「かんたん設定ページ」の「ヘルプ」をクリックしてください。

ヒント
付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書およびコマンドリファレンスは、PDFファイル形式での提供となります。PDFファイルをご覧いただくには、Adobe社のAdobe Reader®が必要になります。最新のAdobe ReaderはAdobe社のWebサイトより無料でダウンロード可能です。 Adobe Readerの操作について詳しくは、Adobe Readerのヘルプをご覧ください。

警告

本製品を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- **本製品は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。**
- **本製品を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

プラグを抜く	本製品から発煙や異臭がするとき、内部に水分や薬品類が入ったとき、およびACアダプタや電源コードが発熱しているときは、直ちにACアダプタをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電のおそれがあります。
水ぬれ禁止	濡れた手でACアダプタや電源コードを触らないでください。感電や故障のおそれがあります。
	電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加工したり、破損したりしないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
	RT58iのACアダプタは使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
	ACアダプタは必ず本製品に付属のもの(P12V2.0A)をお使いください。他のACアダプタを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
	付属のACアダプタは日本国内用AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると、火災や感電、故障の原因となったり、加熱して火災や破損の原因となることがあります。
	安全のため、ACアダプタは容易に外すことのできるコンセントに接続してください。家具の後ろなど手の届かない場所にあるコンセントには接続しないでください。
	本製品を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因となります。
分解禁止	本製品を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

	本製品の通風口を塞いだ状態で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
	電源を入れたままケーブル類を接続しないでください。感電や故障、本製品および接続機器の破損の恐れがあります。
	本製品のポートに指や異物を入れないでください。感電や故障、ショートの原因となります。
	本製品を他の機器と重ねて置かないでください。また、放熱を妨げる場所、通気性の悪い場所には置かないでください。熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
接触禁止	近くに雷が発生したときは、ACアダプタやケーブル類を取り外し、使用をお控えください。落雷によって火災や故障の原因となることがあります。
	LANポートやISDN S/Tポート、ISDN U/LINEポート、TELポートなどの通信ポートには、本来接続される信号と異なる信号ケーブルを接続しないでください。火災や故障の原因になります。
	コンセントやテーブルタップの電流容量を確認し、本製品を使用してもこの容量を越えないことを確認ください。テーブルタップなどが過熱、劣化して火災の原因となります。
	ACアダプタはコンセントに確実に差し込んでください。また定期的にACアダプタのプラグとコンセントの間のほこりを取り除いて下さい。ほこりが溜まり火災の原因となることがあります。
	直射日光や暖房器等の風が当たる場所、温度や湿度が高い場所には、置かないでください。本製品の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

注意

本製品を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

禁止　水ぬれ禁止	極端に低温の場所や温度差が大きい場所、結露が発生しやすい場所で使用しないでください。故障や動作不良の原因となります。結露が発生した場合は、ACアダプタをコンセントから抜き、乾燥させ、充分に室温に慣らしてから使用してください。
禁止	ほこりが多い場所や水のかかる場所、油煙が飛ぶ場所、腐蝕性ガスがかかる場所、磁界が強い場所に置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
必ず実行	アースコードを接続することで静電気対策やノイズ防止に効果があります。アース接続は必ず、ACアダプタをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ずACアダプタをコンセントから取りはずしてから行ってください。
必ず実行	本製品を修理や移動等の理由により輸送する場合には、必ず本製品の設定を保存してください。
必ず実行	本製品に触れる際は、人体や衣服から静電気を除去する等、静電気対策を十分に行ってください。静電気によって故障するおそれがあります。
禁止	同一電源ライン上にノイズを発生する機器を接続しないようにしてください。故障や動作不良の原因になります。
禁止	不安定な場所や振動する場所には設置しないでください。本製品が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。
禁止	通信ケーブルを電源ケーブルなどに近づけて配線しないでください。大きな電圧が誘起され、動作不良の原因になります。
必ず実行　プラグを抜く	本製品をご使用にならないときは、ACアダプタを必ずコンセントから外してください。

使用上のご注意

- ダイヤルアップルーターはプロバイダ接続のために自動的に電話をかける機能を持った装置であり、本製品にも自動的に電話をかける機能があります。それに伴った通話料金やプロバイダ接続料金がかかります。あらかじめ製品の機能や動作をよく理解した上でご使用ください。本製品の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 自動接続が設定されている場合に、「かんたん設定ページ」の「ネットボランチホームページ」をクリックすると、インターネットへ自動接続します。それに伴った通話料金やプロバイダ接続料金がかかりますので、あらかじめご理解いただいた上で、この機能をご使用ください。
- 本製品のTELポートに接続するアナログ機器は、技術基準適合認定を受けた製品をご使用ください。
- 「ダイヤル回線」で電話回線を契約されている場合は、停電時に電話が使用できない場合がありますので、以下の点にご注意ください。
  - 電話機を使った設定やインターネット電話機能など、本製品と電話機間はトーン(プッシュ)で信号がやり取りされます。そのため、停電などによって本製品の電源供給が停止すると、プッシュ回線用に動作するように設定された電話機がダイヤル回線と直結されることになります。この状態では、お使いの電話機によっては110や119などの緊急電話も含めて、外線通話できない場合があります。お使いの電話機にダイヤル/トーン切り換えスイッチがある場合は、「ダイヤル」に切り換えて通話してください。
  - TEL2ポートに接続した電話機で外線通話中に停電が発生すると、切断されます。停電時は、TEL1ポートに接続した電話機に外線通話が切り替わります。
- ISDN回線をご使用の場合、本製品に接続した電話機は停電時に通話できません。停電時に110や119などの緊急通話が必要な場合は、別回線の電話機や携帯電話などをお使いください。
- 本製品のTELポートにはモデムあるいはFAXを接続して使用することができますが、インターネット電話機能を使用して通信することはできません。
- 本製品のTELポートにはモデムを接続して使用することができますが、モデムの最高通信速度で接続できるとは限りません。モデムの通信速度は、その時の通信回線の環境や相手先の機器との相性によって決まりますので、モデムの最高性能よりも遅い速度でしか接続できない場合があります。
- 本製品のDSUを使用している場合、本製品のISDN S/TポートにTAやG4 FAXなどのデジタル通信機器を接続できますが、本製品のISDN S/Tポートは給電に対応していませんので、給電を必要とする機器は正しく動作しません。
- 本製品のUSBポートおよびmicroSDポートは、すべてのUSBメモリ、USBハードディスクおよびmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- 外部メモリの内部データは定期的にバックアップすることをお勧めします。本製品のご利用にあたりデータが消失、破損したことによる被害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本体のUSBポートにハードディスクを接続する際は、必ず外部からハードディスクへ電源を供給してください。給電電流が不足してハードディスクが誤動作する恐れがあります。
- 本製品の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意(つづき)

- 本製品のご使用にあたり、周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。この場合は本製品の設置場所、向きを変えてみてください。
- 本製品を譲渡する際は、マニュアル類も譲渡してください。
- 本製品では、時計機能の電源バックアップのためにリチウム電池を使用しています。廃棄する際はお住まいの自治体の指示に従ってください。
- 本製品を譲渡/廃棄する際は、「取扱説明書」(CD-ROM)の「本製品を譲渡/廃棄する際のご注意」をご覧の上、以下の操作を行ってください。
  1. ネットボランチDNSの登録を削除する
  2. 設定内容を初期化する
- 1000BASE-T でご使用になる場合は、エンハンスドカテゴリー5 (CAT5e)以上のLAN ケーブルをご使用ください。

重要なお知らせ

セキュリティ対策と本製品のファイアウォール機能について

インターネットを利用すると、ホームページで世界中の情報を集めたり、電子メールでメッセージを交換したりすることができ、とても便利です。その一方で、お使いのパソコンが世界中から不正アクセスを受ける危険にさらされることになります。

特にインターネットに常時接続したり、サーバを公開したりする場合には、不正アクセスの危険性を理解して、セキュリティ対策を行う必要があります。本製品はそのためのファイアウォール機能を装備していますが、不正アクセスの手段や抜け道(セキュリティホール)は、日夜新たに発見されており、それを防ぐ完璧な手段はありません。**インターネット接続には、常に危険がともなうことをご理解いただくとともに、常に新しい情報を入手し、自己責任でセキュリティ対策を行うことを強くおすすめいたします。**

通信料金について

本製品を従量課金型回線サービス(ISDN、3G携帯電話網など)でお使いになる場合には、自動発信の機能をよくご理解の上ご使用ください。本製品をパソコンやLANに接続した場合、本製品はパソコンのソフトウェア(電子メールソフトウェアやWebブラウザなど)が送信するデータや、LAN上を流れるデータの宛先を監視します。LAN外の宛先があると、あらかじめ設定された内容に従って自動的に回線への発信を行います。

そのため、**設定間違いや回線切断忘れがあると、ソフトウェアや機器が定期送信パケットを発信して、予想外の電話料金やプロバイダの接続料金がかかる場合があります。**

ときどき通信記録や累積料金を調べて、意図しない発信がないか、また累積料金が適当であるかどうかご確認ください。また、本製品の設定やリビジョンアップなどの最新情報を得るために、定期的にNetVolanteシリーズのホームページ(http://NetVolante.jp/)をご覧になることを強くおすすめいたします。

以下の場合に、予想外の通信料金がかかっている場合があります

- 本製品を使い始めたとき
- 本製品のプロバイダ接続設定を変更したとき
- MP接続を設定したとき
- パソコンに新しいソフトウェアをインストールしたとき
- ネットワークに新しいパソコンやネットワーク機器、周辺機器などを接続したとき
- 本製品のファームウェアをリビジョンアップしたとき
- その他、いつもと違う操作を行ったり、通信の反応に違いを感じたときなど

ご注意

- プロバイダ契約を解除／変更した場合は、必ず本製品の接続設定を削除または再設定してください。削除しないままお使いになると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- MP接続に対応していないプロバイダに対して、MP接続の設定や発信は絶対に行わないでください。意図しない料金を請求される場合があります。
- プロバイダ側の状態(アクセスポイントの変更、メンテナンス、障害など)によって、予想外の通信料金がかかる場合があります。プロバイダからの告知情報には常にご注意ください。

本製品の料金情報や累積接続時間管理について

本製品を従量課金型回線サービス(ISDN、3G携帯電話網など)に接続して使用する場合、料金情報に基づく累積料金額による発信制限や、累積接続時間による発信制限をかけることができます。

これらの機能は、従量課金型回線サービス(ISDN、3G携帯電話網など)を通して通知される料金情報や本製品が計算する累積接続時間に基づいて行われるため、サービス割引などによる異なる料金算出方法や、プロバイダ独自の通信時間算出方法には対応できません。

従って、実際の運用においては、発信制限動作が意図した通りにならない場合があります。正確を期す場合は、一定期間試験運用をするなどしてずれがないかを確認してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波について

JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

輸出について

本製品は「外国為替及び外国貿易法」で定められた規制対象貨物(および技術)に該当するため、輸出または国外への持ち出しには、同法および関連法令の定めるところに従い、日本国政府の許可を得る必要があります。

商標について

- 本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標あるいは商標です。
- 本製品は、RSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しております。RC4およびBSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

DOWNLOADボタンご使用時のソフトウェアライセンス契約について

本製品の設定を変更することにより、DOWNLOADボタンを操作して、本製品の内蔵ファームウェアをリビジョンアップすることができます。
リビジョンアップを許可するように設定を変更する、および、DOWNLOADボタンを押してリビジョンアップを実行する、という操作は、ソフトウェアライセンス契約（以下「本契約書」）に同意したこととみなされます。ご使用になられる前に、必ず本契約書をお読みください。
本契約書の内容に同意していただけない場合には、DOWNLOADボタンの操作によるファームウェアの許可する設定に変更しないでください。過失を含むいかなる場合であっても、ヤマハは、本使用許諾契約に起因するお客様側の損害について一切の責任を負いません。
DOWNLOADボタンの詳しい操作方法は、「取扱説明書」(CD-ROM)にてご確認ください。
本書はお使いになる方がなくさないように大切に保管してください。

ソフトウェアライセンス契約

本契約は、お客様とヤマハ株式会社（以下、ヤマハといいます）との間の契約であって、ヤマハルーター製品（以下「本製品」といいます）用ファームウェアおよびこれに関わるプログラム、印刷物、電子ファイル（以下「本ソフトウェア」といいます）をヤマハがお客様に提供するにあたっての条件を規定するものです。
「本ソフトウェア」は、「本製品」で動作させる目的においてのみ使用することができます。
本契約は、ヤマハがお客様に提供した「本ソフトウェア」および本契約第1条第(1)項の定めに従ってお客様が作成した「本ソフトウェア」の複製物に適用されます。

1. 使用許諾

(1) お客様は、「本ソフトウェア」をお客様が所有する「本製品」またはパーソナルコンピュータ等のデバイスにインストールして使用することができます。

(2) お客様は、本契約に明示的に定められる場合を除き、「本ソフトウェア」を、再使用許諾、販売、頒布、賃貸、リース、貸与もしくは譲渡し、特定もしくは不特定多数の者によるアクセスが可能なウェブ・サイトもしくはサーバー等にアップロードし、または、複製、翻訳、翻案もしくは他のプログラム言語に書き換えてはなりません。お客様はまた、「本ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバース・エンジニアリング等してはならず、また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

(3) お客様は、「本ソフトウェア」に含まれるヤマハの著作権表示を変更、除去、または削除してはなりません。

(4) 本契約に明示的に定める場合を除き、ヤマハは、「本ソフトウェア」に関するヤマハの知的財産権のいかなる権利もお客様に付与または許諾するものではありません。

2. 所有権

「本ソフトウェア」は、著作権法その他の法律により保護され、ヤマハにより所有されています。お客様は、ヤマハが、本契約に基づきまたはその他の手段により「本ソフトウェア」に係る所有権および知的財産権をお客様に譲渡するものではないことを、ここに同意するものとします。

3. 輸出規制

お客様は、当該国のすべての適用可能な輸出管理法規や規則に従うものとし、また、かかる法規や規則に違反して「本ソフトウェア」の全部または一部を、いかなる国へ直接もしくは間接に輸出もしくは再輸出してはなりません。

4. サポートおよびアップデート

ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」のメンテナンスおよびお客様による「本ソフトウェア」の使用を支援することについて、いかなる責任も負うものではありません。また、本契約に基づき「本ソフトウェア」に対してアップデート、バグの修正あるいはサポートを行う義務もありません。

5. 責任の制限

(1) 「本ソフトウェア」は、『現状のまま（AS-IS)』の状態で使用許諾されます。ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」に関して、商品性および特定の目的への適合性の保証を含め、いかなる保証も、明示たると黙示たるとを問わず一切しないものとします。

(2) ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益およびその他の派生的または付随的な損害を含むがこれらに限定されない）について、一切責任を負わないものとします。たとえ、ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

(3) ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じるいかなる紛争についても、一切責任を負わないものとします。

6. 有効期間

(1) 本契約は、下記（2）または（3）により終了されるまで有効に存続します。

(2) お客様は、「本製品」にインストール済みのすべての「本ソフトウェア」を消去することにより、本契約を終了させることができます。

(3) お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、本契約は直ちに終了します。

(4) お客様は、上記（3）による本契約の終了後直ちに、「本製品」にインストール済みのすべての「本ソフトウェア」を消去するものとします。

(5) 本契約のいかなる条項にかかわらず、本契約第 2 条から第 6 条の規定は本契約の終了後も効力を有するものとします。

7. 分離可能性

本契約のいかなる条項が無効となった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有するものとします。

8. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101 (Oct 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.72024 (June 1995), all U.S. Government End Users shall acquire the Software with only those rights set forth herein.

9. 一般条項

お客様は、本契約が本契約に規定されるすべての事項についての、お客様とヤマハとの間の完全かつ唯一の合意の声明であり、口頭あるいは書面による、すべての提案、従前の契約またはその他のお客様とヤマハとのあらゆるコミュニケーションに優先するものであることに同意するものとします。本契約のいかなる修正も、ヤマハが正当に授権した代表者による署名がなければ効力を有しないものとします。

10. 準拠法

本契約は、日本国の法令に準拠し、これにもとづいて解釈されるものとします。

ヤマハルーター製品の お客様サポートについて（サポート規定）

ヤマハ株式会社はルーター製品を快適に、またその性能・機能を最大限に活かしたご利用が可能となりますように以下の内容・条件にてサポートをご提供いたします。

1.サポート方法

① FAQ、技術情報、設定例、ソリューション例等のWeb 掲載

② 電話でのご質問への回答

③ お問い合わせフォームからのご質問への回答

④ カタログ送付

⑤ 代理店・販売店からの回答

ご質問内容によっては代理店・販売店へご質問内容を案内し、代理店・販売店よりご回答させていただく場合がありますので予めご了承のほどお願い致します。

2.サポート項目

① 製品仕様について

② お客様のご利用環境に適した弊社製品の選定について

③ 簡易なネットワーク構成での利用方法について

④ お客様作成の config の確認、及び log の解析

⑤ 製品の修理について

⑥ 代理店または販売店のご紹介

3.免責事項・注意事項

① 回答内容につきましては正確性を欠くことのないように万全の配慮をもって行いますが、回答内容の保証、及び回答結果に起因して生じるあらゆる事項について弊社は一切の責任を負うことはできません。

また、サポートの結果又は製品をご利用頂いたことによって生じたデータの消失や動作不良等によって発生した経済的損失、その対応のために費やされた時間的・経済的損失、直接的か間接的かを問わず逸失利益等を含む損失及びそれらに付随的な損失等のあらゆる損失について弊社は一切の責任を負うことはできません。

尚、これらの責任に関しては弊社が事前にその可能性を知らされていた場合でも同様です。但し、契約及び法律でその履行義務を定めた内容は、その定めるところを遵守するものと致します。

② ファームウェアの修正は弊社が修正を必要と認めたものについて生産終了後 2 年間行います。

③ 質問受付対応、修理対応は生産終了後 5 年間行います。

④ 実ネットワーク環境での動作保証、性能保証は行っておりません。

⑤ 期日・時間指定のサポート、及び海外での使用、日本語以外でのサポートは行っていません。

⑥ お問い合わせの回答を行うにあたって、必要な情報のご提供をお願いする場合があります。情報のご提供がない場合は適切なサポートができない場合があります。

⑦ 再現性がない、及び特殊な環境でしか起きない等の事象に関しては、解決のための時間がかかったり適切なサポートが行えない場合があります。

⑧ オンサイト保守・定期保守等は代理店にて有償で行います。詳細な内容は代理店にご確認をお願い致します。

⑨ 他社サービス、他社製品、及び他社製品との相互接続に関してのサポートは弊社 Web 上に掲載している範囲に限定されます。

⑩ やむを得ない事由によりヤマハルーターの返品・交換が生じた場合は、ご購入店経由となります。尚、交換、返品に際しましてはご購入店、ご購入金額を証明する証憑が必要となります。

⑪ 製品の修理は代理店・販売店経由で受付けさせて頂きます。弊社への直接持ち込みはできません。また、着払いでの修理品受付は致しておりません。発送は弊社指定の通常宅配便（国内発送のみ）にて行わせて頂きます。修理完了予定期間は変更になる場合がありますのでご了承のほどお願い致します。尚、保証期間中の無償修理（無償例外事項）等の詳細規定は保証書に記載しております。

⑫ 上記サポート規定は予告なく変更されることがあります。

NVR500でできること

本製品はギガビットのLANポート、およびTELポート、DSU、VoIPの機能を内蔵したブロードバンドVoIPルーターです。ISDNのダイヤルアップ接続からCATV /ADSL/FTTH接続、専用線接続に加え、3G携帯電話網に対応したUSBデータ通信端末を使用したモバイルインターネットなど、さまざまなインターネット接続方法に対応できます。

ギガビットイーサ、ISDN、3Gモバイル通信に対応
FTTHやCATV、ADSLなどのブロードバンド回線用モデムに接続できるWANポートに加えて、従来のISDNダイヤルアップルーター機能も装備しています。「インターネットにはFTTH回線を接続し、電話はISDN回線を使用する」という環境でも、本製品1台で対応できます。また、USBポートに3G携帯電話網に対応したデータ通信端末を接続して、モバイルインターネットを利用することもできます。

フレッツ光ネクスト「ひかり電話」・NetVolante インターネット電話(VoIP通話)
通話の相手先がインターネット電話機能を持ったネットボランチシリーズルーターを使用している場合には、プロバイダへの通信料だけでインターネットを経由して通話できます(NetVolanteインターネット電話)。また、通常はISDN回線やアナログ回線を経由して電話する一方で、特定の相手にはインターネット経由で電話するように設定することもできます。NTT東日本・西日本の提供するVoIPサービスであるフレッツ光ネクスト「ひかり電話」にも対応しています。

PPTPによる仮想プライベートネットワーク
本製品はPPTP (Point to Point Tunneling Protocol)に対応しているため、インターネット(ブロードバンド)回線を利用した仮想プライベートネットワーク(VPN)を構築する場合でも、より安全にデータをやり取りできます。LANとLANをPPTP方式で接続するだけでなく(PPTP-LAN間接続)、外出先からPPTP方式でLANにリモートアクセスすることもできます。

かんたん操作

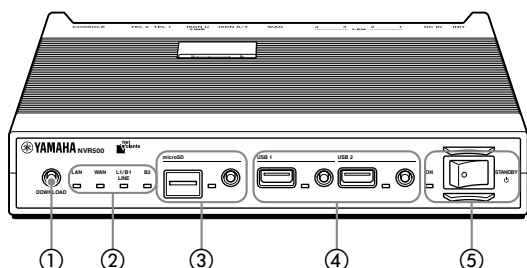
- 本製品は設定のための「かんたん設定ページ」を内蔵していますので、パソコンのWebブラウザを使って本製品の基本的な設定を変更できます。
- DOWNLOADボタンを押すだけで、内蔵ファームウェアをリビジョンアップ(バージョンアップ)できます。ご購入後に新しい機能が追加されても、最新の機能を利用できます。ファームウェアは本体に直接ダウンロードする以外に、PCからの転送やUSBメモリまたはmicroSDに保存したファームウェアを使用することもできます。

さまざまな外部メモリに対応

- 本製品の設定ファイルやログを、市販のmicroSD/USBメモリ/USBハードディスクに保存できます。また、microSD/USBメモリ/USBハードディスクに保存したファームウェアや設定ファイルで、本製品を起動することもできます。
- 本製品にmicroSD/USBメモリ/USBハードディスクを接続して、ファイル共有/同期機能を利用できます。本製品のLAN側に接続されたPCから本製品に接続したmicroSD/USBメモリ/USBハードディスク内のファイルを閲覧・編集するだけでなく、拠点間の外部メモリ間で同期して、ファイルをバックアップすることもできます。

充実のヤマハルーターホームページ
ヤマハネットワーク周辺機器ホームページ(http://netvolante.jp/、http://www.rtpro.yamaha.co.jp/)で、ヤマハルーターを使った高度な活用例や詳しい解説をご覧いただけます。

各部の名称とはたらき

前面

① DOWNLOADボタン

DOWNLOADボタンによるリビジョンアップを許可するように設定している場合は、このスイッチを3秒間押し続けるとファームウェアのリビジョンアップを開始します。詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

② ランプ

本製品の動作状態を示します。ランプの点灯状態と本製品の動作の関係については、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

- **LAN：**LANポートの使用状態を示します。
- **WAN：**WANポートの使用状態を示します。
- **L1/B1,LINE：**本製品に接続したアナログ回線またはISDN回線状態、ISDNのB1チャネルの使用状態を示します。
- **B2：**ISDNのB2チャネルの使用状態を示します。
- **microSD：**microSDポートに接続した機器の接続、使用状態を示します。
- **USB 1：**USB 1ポートに接続した機器の接続、使用状態を示します。
- **USB 2：**USB 2ポートに接続した機器の接続、使用状態を示します。
- **ON：**本製品の電源の状態を示します。

③ microSDボタンとポート

市販のmicroSDカードを使用して、設定ファイルのコピーやログの保存、リビジョンアップを実行できます。また、microSDカードをネットワークからアクセスできる共通ドライブとして使用することもできます。詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

microSDカードを取り外す際は、microSDボタンを2秒間押し続けて接続を解除してから、microSDカードを取り外してください。

④ USBボタンとポート(USB 1/USB 2)

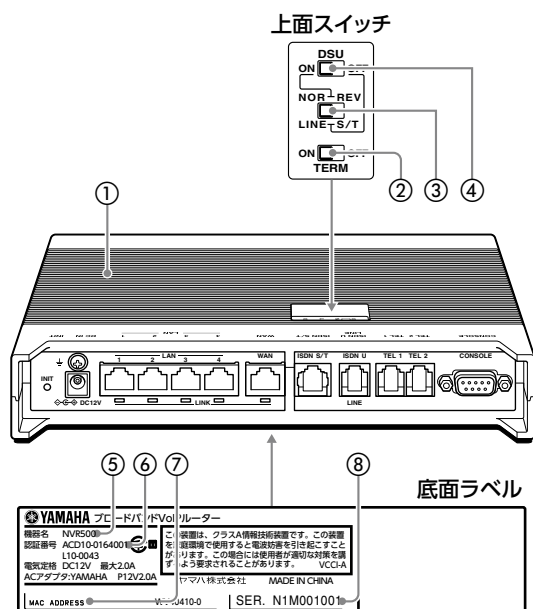
市販のUSBメモリやUSBハードディスクを接続して、設定ファイルのコピーやログの保存、リビジョンアップを実行できます。接続したUSBメモリやUSBハードディスクは、ネットワークからアクセスできる共通ドライブとして使用することもできます。また、USB接続の通信端末を接続して、3G携帯電話回線を利用した通信を行うこともできます。詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

USB機器を取り外す際は、USBボタンを2秒間押し続けて接続を解除してから、USB機器を取り外してください。

⑤ POWERスイッチとランプ

本製品の電源を入／切します。

本製品の電源を入れると、ONランプが点灯します。

上面／底面

① 通風口

内部の熱を逃がすための穴です。

② TERM（ターミネータ）スイッチ

ISDN機器のターミネータ（終端抵抗）を設定します。

- **本製品のターミネータを使用する場合**：TERMスイッチをONに設定します。
- **U点を使用する場合**：ONに設定します。

③ NOR-REV（極性反転）およびLINE-S/Tスイッチ

DSUスイッチがONの場合とOFFの場合で、機能が異なります。

- **内蔵のDSUを使用する場合（DSUスイッチがON）**：ISDN U/LINEポートの極性を切り替えます。
- **内蔵のDSUを使用しない場合（DSUスイッチがOFF）**：ISDN回線に接続する場合は「S/T」、アナログ回線に接続する場合は「LINE」に設定します。

④ DSUスイッチ

本製品内蔵のDSUを入/切します。内蔵のDSUを使うときは「ON」、使わないときは「OFF」にします。

⑤ 機器名

本製品の機器名が記載されています。

⑥ 認証番号

本製品の認証番号が記載されています。

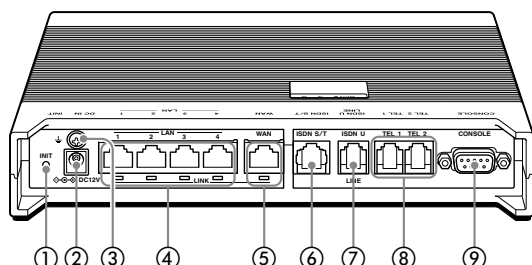
⑦ MACアドレス

LAN側とWAN側それぞれに付与されている機器固有のネットワーク識別番号が記載されています。「00A0DE3B0000, 1」という上図の例の場合、LAN側とWAN側それぞれのMACアドレスは以下のようになります。

- **LAN側MACアドレス：**00A0DE3B0000
- **WAN側MACアドレス：**00A0DE3B0001

⑧ シリアル番号

製品を管理／区分するための製造番号です。

背面

① INITスイッチ

このスイッチを押しながら本製品の電源を入れると、本製品の設定を工場出荷状態に戻すことができます。詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

② 電源コネクタ(DC 12V)

付属のACアダプタを接続します。

③ アース端子

アースコードを接続します。

④ LANポート

パソコンのLANポートまたはHUBのポートとLANケーブルで接続します。
各LANポートの下部にはLINKランプがあり、リンク状態によって消灯(リンク喪失)または点灯(リンク確立)、点滅(データ転送中)します。

⑤ WANポート

ケーブルモデムやADSLモデム、ONUとLANケーブルで接続します。

⑥ ISDN S/Tポート

内蔵のDSUを使用する場合と使用しない場合で、機能が異なります。

- **内蔵のDSUを使用する場合**:このポートと他のISDN機器をISDNケーブルで接続します。
- **内蔵のDSUを使用しない場合**:このポートとDSUをISDNケーブルで接続します。

⑦ ISDN U/LINEポート

ISDN回線に接続する場合とアナログ回線に接続する場合で、機能が異なります。

- **ISDN回線に接続する場合**:ISDN回線や専用線をモジュラーケーブルで接続します。
- **アナログ回線に接続する場合**:アナログ回線にモジュラーケーブルで接続します。

⑧ TELポート(TEL1/TEL2)

電話機やFAXなどのアナログ機器とモジュラーケーブルで接続します。停電時の動作は、接続する回線によって異なります。

- **ISDN回線に接続する場合**:停電時は、TELポートに接続した電話機を使用して通話することはできません。
- **アナログ回線に接続する場合**:停電時は、TEL1ポートのみ使用できます。

⑨ CONSOLEポート

コンソールからの設定を行う場合に、パソコンのRS-232C端子(シリアルコネクタ)と接続します。
詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

準備する

本書ではフレッツ・ADSL、Bフレッツなど PPPoE 方式でブロードバンド回線でインターネットへ常時接続する方法について説明します。それ以外の方式や回線でインターネットに接続する場合は、取扱説明書(CD-ROM)をご覧ください。

準備を始める前にご用意ください

アースコード

アースコードを接続することで静電気対策やノイズ防止に効果があります。

LANケーブル

パソコンの台数や距離に合わせて、LANケーブルをご用意ください。

HUB

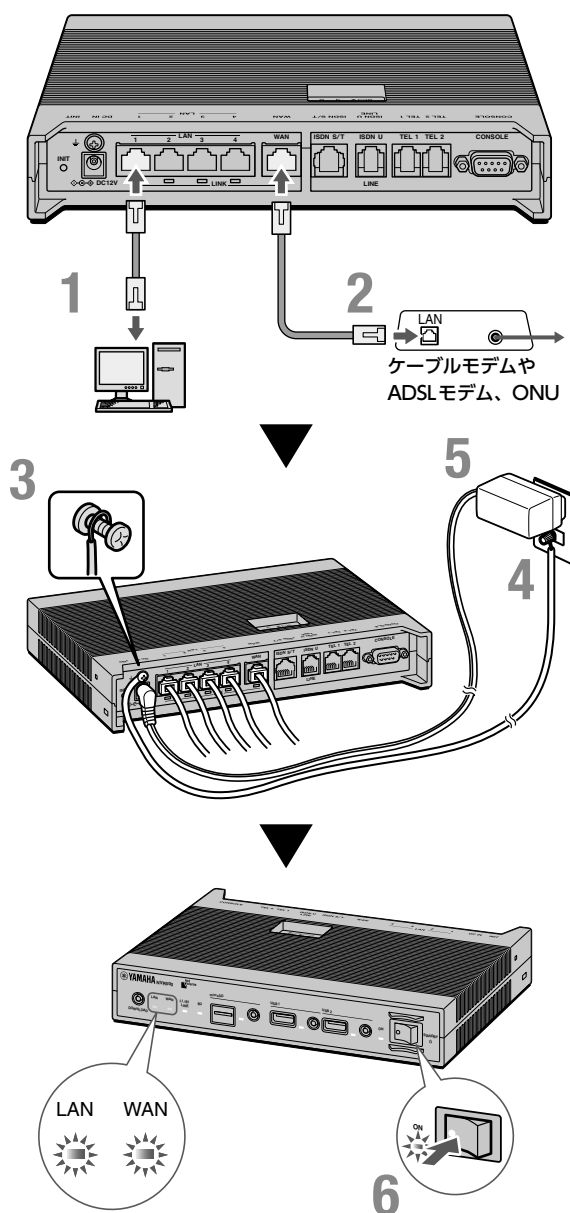
本製品のLANポートには、パソコンを4台まで直接接続できます。5台以上のパソコンを接続したい場合は、10BASE-Tまたは100BASE-TX、1000BASE-T対応のHUB（またはスイッチングHUBなど)をご用意ください。

プロバイダの設定資料

接続先を設定してインターネットに接続するには、プロバイダから通知される以下の情報が必要です（接続方法によっては、必要のないものもあります)。

- ユーザID（認証ID、アカウント名)
- パスワード(認証パスワード、初期パスワード)
- IPアドレス
- ネットマスク
- ネームサーバアドレス(DNSサーバアドレス、ネームサーバIPアドレス、DNSサーバIPアドレス)
- デフォルト・ゲートウェイ・アドレス

準備1：接続して電源を入れる

VoIP通話を利用する場合は、本製品のTELポートに電話機を別途接続する必要があります。詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

準備する(つづき)

1 **パソコンのLANポートと本製品のLANポートを、LANケーブルで接続する。**

2 **ケーブルモデムやADSLモデム、ONUのLANポートと本製品のWANポートを、LANケーブルで接続する。**

プロバイダの資料やADSLモデム、ONUの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

ケーブルモデムやADSLモデム、ONUとパソコンを直接接続している環境を本製品との接続に切り替えたり、設置されていたルーターを本製品に置き換えた場合に、アドレスが取得できないなどの原因で正常接続できないことがあります。場合により、環境の変更後に何らかの設定やリセット操作、指定時間(例:20分以上)待つこと、などが必要となる場合があります。詳しくは、それらの取扱説明書の指示に従ってください。

3 **アース端子のネジを+ドライバで少しゆるめてから、アースコードをアース端子に接続して固定する。**

アースコードを接続することで静電気対策やノイズ防止に効果があります。

4 **アースコードをコンセントのアース端子へ接続する。**

ご注意

アースコードは必ずコンセントのアース端子に接続してください。ガス管などには、絶対に接続しないでください。

5 **付属のACアダプタのコネクタを本製品の電源コネクタに接続してから、ACアダプタをコンセントに接続する。**

ご注意

ACアダプタは、必ず本製品に付属のものを使用してください。他のACアダプタを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

ACアダプタを取りはずす場合は

先にACアダプタを取りはずしてから、アースコードを取りはずしてください。

6 **本製品のPOWER(電源)スイッチを「ON」にして、電源を入れる。**

ランプが何回か点滅した後、ONランプが点灯します。

7 **パソコンやHUBの電源を入れる。**

本製品のLANランプとWANランプが点灯または点滅すれば正常です。

LANランプが点灯または点滅しない場合は

- LANケーブルが正しく接続されているかどうか、パソコンやHUBの電源が入っているかどうか確認してください。
- 本製品に接続したすべてのパソコンおよびHUBの電源が入っていないときは、LANランプは点灯または点滅しません。

WANランプが点灯または点滅しない場合は

本製品とADSLモデム(またはケーブルモデムやONU)が正しく接続されているかどうか、ADSLモデム(またはケーブルモデムやONU)の電源が入っているかどうか確認してください。

準備2:「かんたん設定ページ」を開く

本製品の設定の変更は、本製品に接続したパソコンのWebブラウザから本製品の「かんたん設定ページ」を開いて行います。
「かんたん設定ページ」を開くには、以下の手順で操作します。

ご注意

- 「かんたん設定ページ」を使用するには、Windows版Internet Explorer 8.0以降のWebブラウザが必要です。
- 本書ではWindows 7とInternet Explorer 8.0の画面を例に説明します。他の環境の場合は画面表示が多少異なりますが、操作は同じです。

ヒント

TELNETソフトウェアでコンソール画面からコマンドを入力して、「かんたん設定ページ」よりも詳細な設定を行うことができます(コンソールコマンド)。TELNETソフトウェアで本製品に接続する方法や本製品で使用できるコマンドについて詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

1 本製品の電源が入っていることを確認する。

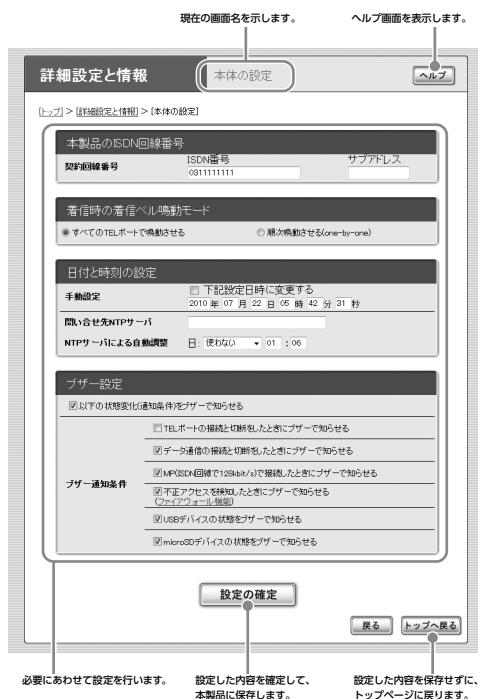
2 パソコンでWebブラウザを起動して、「ファイル」メニューから「開く」を選ぶ。

3 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、「OK」をクリックする。

「かんたん設定ページ」のトップページが表示されます。

「かんたん設定ページ」のトップページが表示されないときは

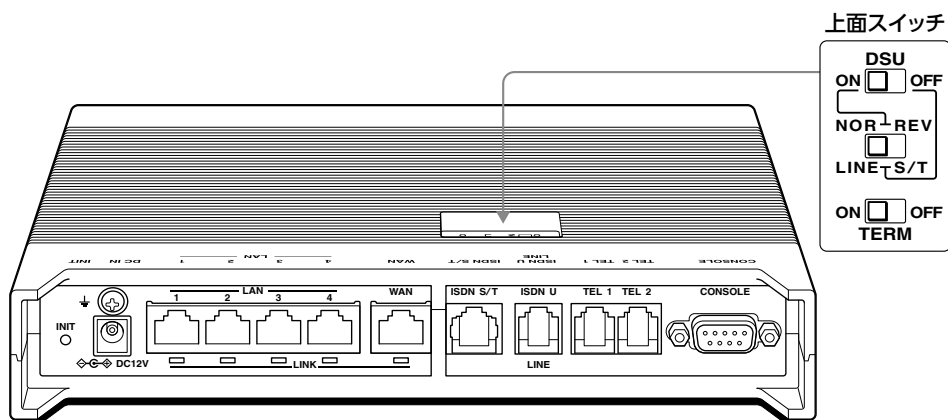
「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

「かんたん設定ページ」の見かた

4 本製品の初期設定を変更する。

詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)の「パスワードを設定する」以降の説明をご覧ください。

5 ネットワーク接続に必要な設定を変更する。

詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)の「本製品の接続設定のしくみ」以降の説明をご覧ください。

本製品に電話機を接続して使用する場合の重要なご注意

本製品上面のスイッチを切り替えた場合は、本製品の再起動が必要です

DSUスイッチおよびNOR-REV（LINE-ST）スイッチを切り替えて、通信に使用する回線種別をISDN回線からアナログ回線（またはその逆）に変更した場合は、新たに選択された回線を有効にするために本製品を再起動する必要があります。

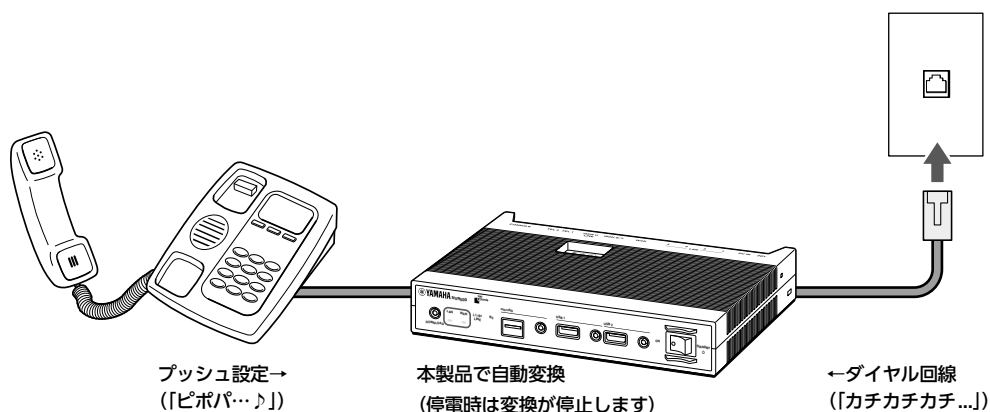
スイッチを切り替えた時点で、変更前に選んでいた回線も使用できなくなります

- 変更前に選んでいなかった側の回線も使用できないままとなるため、スイッチを切り替えた時点でそれまで接続できていたISDN回線／アナログ回線とも使用できなくなります。ただし、WAN／LAN通信には影響ありません。
- 変更前に選んでいた回線がデータ呼を含め通話中の場合、その通話はアナログ呼およびデータ呼に関わらず、切断されます。
- スイッチ操作によってISDN回線およびアナログ回線が使用できなくなった場合は、L1/B1,LINEランプおよびB2ランプが同じタイミングで点滅します。

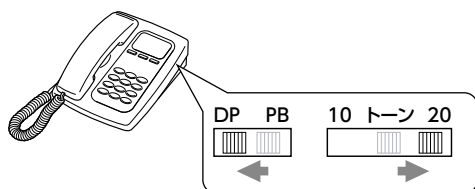
ISDN回線用の設定からアナログ回線用の設定に切り替えると

- L1/B1,LINEランプおよびB2ランプが点滅します。
- ISDN回線で通信中の呼（アナログ、データ共）は切断されます。

アナログ回線用の設定からISDN回線用の設定に切り替えると

- L1/B1,LINEランプおよびB2ランプが点滅します。
- アナログ回線で通信中の呼は切断されます。

停電時の電話に関する重要なお知らせ(ダイヤル回線で契約のお客様へ)

「ダイヤル回線」で電話回線を契約されている場合は、停電時に電話が使用できない場合がありますので、以下の注意をよくお読みください。

- 電話機を使った設定やインターネット電話機能など、本製品と電話機間はトーン(プッシュ)で信号がやり取りされます。
- 停電などによって本製品の電源供給が停止すると、プッシュ回線用に動作するように設定された電話機がダイヤル回線と直結されるため、お使いの電話機によっては110 や119 などの緊急電話も含めて外線通話できない場合があります。
- お使いの電話機にダイヤル/トーン切り替えスイッチがある場合は、停電時には「ダイヤル」に切り替えて通話してください。詳しくは、お使いの電話機の取扱説明書をご覧ください。

契約種別を確認するには

契約書(または毎月の請求書)でご確認ください。

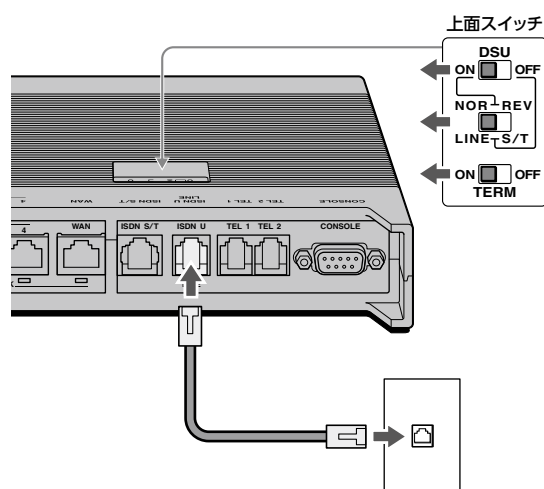
電話機の設定を「ダイヤル」に切り替えると

＊および＃を入力できないため、停電時以外の通常の状態でも内線電話や電話機からの設定は利用できません。また、インターネット電話機能もプレフィックスの設定によっては利用できません。

ISDN回線で通話する

1.ISDN回線を接続する

本製品のDSUを使って接続する場合

通常はこの方法で接続します。

1 本製品上面のDSUスイッチを「ON」に合わせる。

2 本製品上面のNOR-REVスイッチを「NOR」に合わせる。

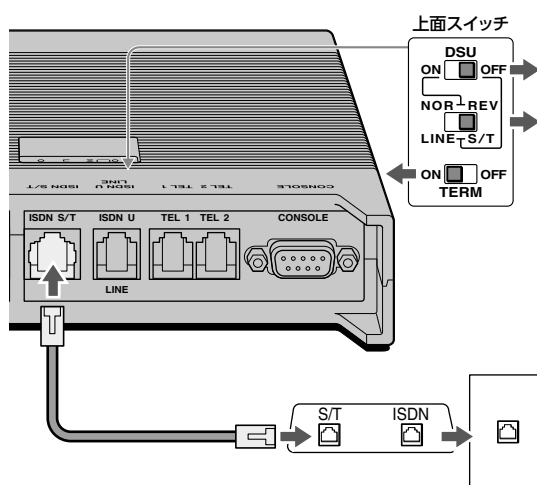
3 本製品上面のTERMスイッチを「ON」に合わせる。

4 回線のモジュラージャックと本製品のISDN U/LINEポートを、モジュラーケーブルで接続する。

ご注意

このスイッチ設定の場合、アナログ回線を接続しないでください。

他のISDN機器のDSUを使って接続する場合

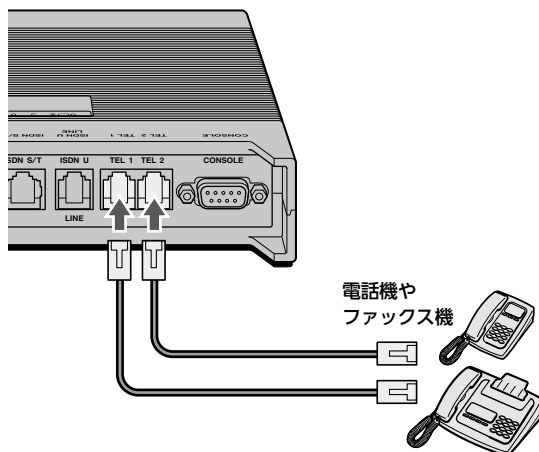
他のISDN機器を本製品と同時に使用したり、外部のDSUを使用する場合のみ、以下の手順に従って接続します。

1 本製品上面のDSUスイッチを「OFF」に合わせる。

2 本製品上面のNOR-REVスイッチを「S/T」に合わせる。

3 本製品のみの接続の場合は、本製品上面のTERMスイッチを「ON」に合わせる。

複数のISDN機器を接続する場合は、最遠端の機器のみ終端抵抗を「ON」にします。

4 DSU（または他のISDN機器のS/Tポート）と本製品のISDN S/Tポートを、ISDNケーブルで接続する。

2.電話機を接続する

電話機を本製品のTELポートに接続する。

電話機を本製品に接続すると、ISDN回線を利用した通常の通話に加えて、VoIP通話機能を利用できます。詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

ご注意

- 本製品に接続した電話機は、停電時には通話できません。停電時に110や119などの緊急通話が必要な場合は、別回線の電話機や携帯電話などをお使いください。
- 停電時にVoIP通話機能を使用することはできません。
- VoIP通話機能で110や119などの緊急通話をすることはできません。
- 各TELポートにはアナログ機器1台のみ接続できます。分岐アダプタや切替器などで2台以上接続した場合は、正しく動作しません。
- TELポートにアナログ回線を接続しないでください。

3.電源を入れる

1 **アース端子のネジを＋ドライバで少しゆるめてから、アースコードをアース端子に接続して固定する。**

アースコードを接続することで静電気対策やノイズ防止に効果があります。

2 **アースコードをコンセントのアース端子へ接続する。**

ご注意

アースコードは必ずコンセントのアース端子に接続してください。ガス管などには、絶対に接続しないでください。

3 **付属のACアダプタのコネクタを本製品の電源コネクタに接続してから、ACアダプタをコンセントに接続する。**

ご注意

ACアダプタは、必ず本製品に付属のものを使用してください。他のACアダプタを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

ACアダプタを取りはずす場合は

先にACアダプタを取りはずしてから、アースコードを取りはずしてください。

4 **本製品のPOWER(電源)スイッチを「ON」にして、電源を入れる。**

ランプが何回か点滅した後、ONランプが点灯します。本製品のL1/B1, LINEランプが緑色に点灯すれば正常です。

L1/B1, LINEランプが点灯しない場合は

- 本製品とISDN回線が正しく接続されているかどうか、本製品のスイッチが正しく設定されているかどうか確認してください。
- 本製品のDSUを使って接続している場合には、上面のNOR-REVスイッチを「REV」に変えてみてください。

4.接続した電話機にあわせて、設定を変更する

電話機やFAXなどを接続していないTELポートが「着信可能」に設定されていると、かかってきた電話がそのTELポートに着信してしまい、回線が話し中にならない場合があります。何も接続していないTELポートがある場合は、本製品に接続した電話機を使って、そのTELポートを「使用しない」に設定してください。

ヒント

すべてのTELポートにアナログ機器を接続している場合は、この設定は不要です。

ご注意

電話機のダイヤル設定は、必ず「トーン」(プッシュ)にして操作してください。トーンの機能がない電話機では、設定できません。

1 **電話機の受話器を上げて、「ツー」という発信音を確認する。**

2 **電話機やFAXを接続していないTELポートの設定番号をダイヤルする。**

- **TEL1ポートに電話機やFAXを接続していない場合:㊍# ① ④ ① ⓪ #**
- **TEL2ポートに電話機やFAXを接続していない場合:✳# ① ④ ② ⓪ #**

「ツー」という音が聞こえて、設定が変更されます。

「ツー、ツー」と聞こえたときは

設定内容が間違っていたり、設定が正常に行われていません。いったん受話器を置いて、もう1度ダイヤルし直してください。

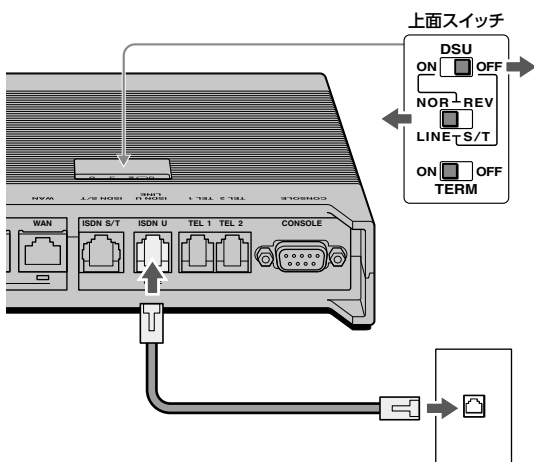
3 **受話器を置く。**

ヒント

- TELポートを「発信・着信可能にする」に設定する場合は、以下の通りにダイヤルします。
  - TEL1ポートを「発信・着信可能にする」に変更:✳# ① ④ ① ③ #
  - TEL2ポートを「発信・着信可能にする」に変更:✳# ① ④ ② ③ #
- その他の設定操作について詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

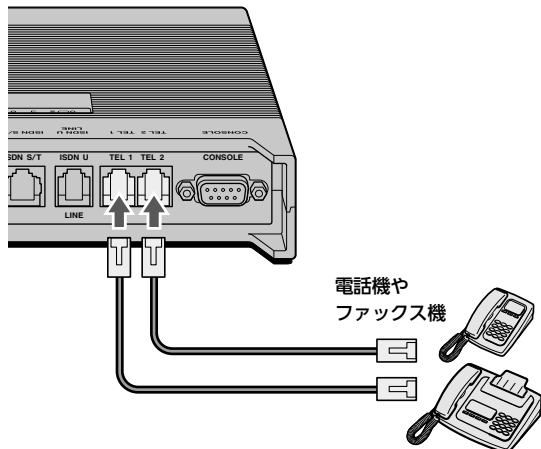
アナログ回線で通話する

1.アナログ回線を接続する

インターネットへ光ファイバ回線やCATV回線で接続して、独立したアナログ回線に電話機を接続している場合は、この方法で接続します。

1 本製品上面のDSUスイッチを「OFF」に合わせる。

2 本製品上面のLINE-S/Tスイッチを「LINE」に合わせる。

3 回線のモジュラージャックと本製品のISDN U/LINEポートを、モジュラーケーブルで接続する。

2.電話機を接続する

電話機を本製品のTELポートに接続する。

電話機を本製品に接続すると、アナログ回線を利用した通常の通話に加えて、VoIP通話機能を利用できます。詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

ご注意

- TEL1ポートに接続した電話機は、停電時にも通話することができます。ダイヤル回線を使用している場合に電話機が「プッシュ」の設定になっていると、停電時にダイヤルできなくなります。この場合は、電話機を「ダイヤル」の設定に切り換えてください。
- 停電時にVoIP通話機能を使用することはできません。
- VoIP通話機能で110や119などの緊急通話をすることはできません。
- 各TELポートにはアナログ機器1台のみ接続できます。分岐アダプタや切替器などで2台以上接続した場合は、正しく動作しません。
- TELポートにアナログ回線を接続しないでください。

3.電源を入れる

1 アース端子のネジを＋ドライバで少しゆるめてから、アースコードをアース端子に接続して固定する。

アースコードを接続することで静電気対策やノイズ防止に効果があります。

2 アースコードをコンセントのアース端子へ接続する。

ご注意

アースコードは必ずコンセントのアース端子に接続してください。ガス管などには、絶対に接続しないでください。

3 付属のACアダプタのコネクタを本製品の電源コネクタに接続してから、ACアダプタをコンセントに接続する。

ご注意

ACアダプタは、必ず本製品に付属のものを使用してください。他のACアダプタを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

ACアダプタを取りはずす場合は

先にACアダプタを取りはずしてから、アースコードを取りはずしてください。

4 本製品のPOWER (電源)スイッチを「ON」にして、電源を入れる。

ランプが何回か点滅した後、ONランプが点灯します。

4.接続した電話機にあわせて、設定を変更する

「1.アナログ回線を接続する」(26ページ)で本製品に接続した電話回線の種類に合わせて、TELポートに接続したプッシュボタン式電話機で本製品の設定を変更します。

ご注意

電話機のダイヤル設定は、必ず「トーン」(プッシュ)にして操作してください。トーンの機能がない電話機では、設定できません。

1 TEL1ポートに接続した電話機の受話器を上げて、「ツー」という発信音を確認する。

2 電話機のボタンを押して、お使いのアナログ回線の種類を指定する。

- プッシュ回線の場合：＊# 201 3 #
- ダイヤル回線(10pps)の場合：＊# 201 1 #
- ダイヤル回線(20pps)の場合：＊# 201 2 #

「ツー」という音が聞こえて、設定が変更されます。

「ツー、ツー」と聞こえたときは

設定内容が間違っていたり、設定が正常に行われていません。いったん受話器を置いて、もう1度ダイヤルし直してください。

回線の種類がわからない場合は

NTTとの電話回線契約書類をご覧ください。それでもわからない場合は、NTTまでお問い合わせください(116)

3 受話器を置く。

ヒント

その他の設定操作について詳しくは、「取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

アナログ回線をお使いの場合のご注意

電話機を使った設定やインターネット電話機能など、本製品と電話機間はトーン(プッシュ)で信号がやり取りされます。そのため、停電などによって本製品の電源供給が停止すると、プッシュ回線用に動作するように設定された電話機がダイヤル回線と直結されることになります。この状態では、お使いの電話機によっては110や119などの緊急電話も含めて、外線通話できない場合があります。お使いの電話機にダイヤル/トーン切り換えスイッチがある場合は、「ダイヤル」に切り換えて通話してください。

ヒント

- 電話機をダイヤル回線用に設定しておき、常に「トーン」ボタン(通常は㊍ボタン)を押してから相手の電話番号をダイヤルすることで、停電時の問題を回避できる場合があります。
- 「トーン」ボタンはお使いの電話機によって異なります。詳しくは、お使いの電話機の取扱説明書をご覧ください。

主な仕様

外形寸法（幅×高さ×奥行き、スタンドを除く）：
220 mm×41.5 mm×161.9 mm

質量：
本体 600g（付属品含まず）
ACアダプタ 150g

電源：
AC100 V（50/60 Hz）

消費電力：
最大20W

動作環境条件：
周囲温度 0～40 ℃
周囲湿度 15～80 %（結露しないこと）

保管環境条件：
周囲温度 －20～50 ℃
周囲湿度 10～90 %（結露しないこと）

電波障害規格：
VCCI クラスA

認証番号：
ACD10-0164001、L10-0043

LANインタフェース：
イーサネット（RJ-45）
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
4ポートスイッチングHUB
ストレート/クロス自動判別

WANインタフェース：
イーサネット（RJ-45）
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
1ポート
ストレート/クロス自動判別

アナログインタフェース：
2線式（RJ-11）
2ポート（給電電圧-48V）
PB、DP（10PPS、20PPS）自動認識
線路抵抗：600Ω（電話機込み）
呼出信号電圧 交流65V 正弦波

LINE（一般公衆回線）インタフェース：
2線式（RJ-11）
1ポート（ISDN U点インタフェースと共有、
スライドスイッチで切替可能）
PB、DP（10PPS、20PPS）ソフト切替
停電時アナログポート（TEL1）と物理的に
接続する

ISDN U点インタフェース：
2線式（RJ-11）
1ポート（LINEインタフェースと共用、
スライドスイッチで切替可能）
ISDNまたはディジタル専用線
DSU機能内蔵

ISDN S/T点インタフェース：
4線式（RJ-45）
1ポート
ISDN DSUまたはディジタル通信機器
（スライドスイッチで入出力切替可能）

シリアルインタフェース：
DTE固定（パソコンとの接続はクロスケーブル）
ポート数：1
非同期シリアル：RS-232C
コネクタ：D-sub 9ピン
データ転送速度：9600bit/s
データビット長：8ビット
パリティチェック：なし
ストップビット数：1ビット
フロー制御：ソフトウェア（Xon/Xoff）

USBインタフェース：
High/Full/Lowスピード対応
給電電流：最大500mA
ポート数：2
コネクタ：USB Type-Aコネクタ

microSDインタフェース：
ポート数：1
コネクタ：microSDスロット

表示機能（LED）
前面：POWER、USB1、USB2、microSD、
L1/B1,LINE、B2、LAN、WAN
背面：LINK/DATA

付属品：
ACアダプタ（P12V/2.0A）
スタンド
はじめにお読みください
取扱説明書（CD-ROM内に収録）
コマンドリファレンス（CD-ROM内に収録）
保証書（本書30ページ）

本製品の保守サービスについて

保証期間

ご購入日から1 年間です。

保証書について

保証書をお受取りの際は、お買い上げ年月日・販売店などを必ずご確認の上保管してください。万一紛失なさいますと、保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。

保証期間中の修理

保証期間中に万一故障した場合には、ご購入の販売店またはネットボランチ・コールセンターまでご連絡の上、製品をご送付ください。その際必ず保証書を同封してください。

保証期間後の修理

保証期間終了後の修理は有料となりますが、引続き責任をもって対応させていただきます。ご購入の販売店またはネットボランチ・コールセンターまでご連絡ください。
ただし、修理対応期間は製造打ち切り後5年間です。

ご注意

- 本製品を修理等の理由により輸送される場合には、お客様の責任において必ず本製品の設定を別の環境に保存してください。
- 本製品の設定を保存する方法につきましては、「取扱説明書」(CD-ROM)の「本製品の設定情報とログを確認する」をご覧ください。
- 修理の内容によっては、設定を工場出荷時の状態にさせて頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。

無償修理規定

1. 正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げ販売店にご依頼できない場合には、取扱説明書に記載されているヤマハサービス窓口にお問合せください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
   (1) 本書のご提示がない場合。
   (2) 本書のお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
   (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
   (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
   (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
   (6) お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※ この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を規制するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、または取扱説明書に記載されておりますヤマハサービス窓口までお問い合わせください。
※ お客様にご記入いただいた個人情報は、保障期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動の為に利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書

この度はヤマハ製品をお買上げ戴きましてありがとうございました。
本書は、本書記載の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名 ブロードバンドVoIPルーター **品番** NVR500 **製造番号**

お客様	ご住所 〒	お名前
		電　話　　　(　　　)
販売店/住所/電話番号		
お買上げ日　年　月　日		お買い上げ日から1年間です。

※保証書は、「お買い上げ年月日」が確認できるレシートと一緒に大切に保管ください。

サポート窓口のご案内

お問い合わせの前に

本書をもう一度ご確認ください

本書をよくお読みになり、問題が解決できるかどうかご確認ください。

ログ情報や設定情報をご確認ください

お客様のルーターの状態を把握するために、弊社の担当者がログ(Syslog)情報や設定(config)情報を確認させていただくことがあります。ログ情報や設定情報を問題の症状とあわせてお知らせいただくことで、問題の解決が早まることがあります。ログ情報や設定情報は、以下の方法でご確認ください。

1. **パソコンでWebブラウザを起動して、ファイルメニューの「開く」を選ぶ。**
   「ファイルを開く」画面が表示されます。
2. **「http：//setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、「OK」をクリックする。**
   「かんたん設定ページ」のトップページが表示されます。
3. **「詳細設定と情報」をクリックする。**
   詳細設定と情報」画面が表示されます。
4. **ログ情報を確認したいときは「本製品のログ(Syslog)のレポート作成」、設定情報を確認したいときは「本製品の全設定(config)のレポート作成」の「実行」をクリックする。**
   本製品のログ表示または全設定情報が表示されます。
   「取扱説明書」(CD-ROM)の「本製品の設定情報とログを確認する」もあわせてご覧ください。

お問い合わせ窓口

本製品に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

ネットボランチ・コールセンター

TEL：03-5715-0350
NetVolanteインターネット電話番号
TEL：##62594341

ご相談受付時間
9：00～12：00、13：00～17：00
(土・日・祝日、年末年始は休業とさせて頂きます。)

お問い合わせページ
http://NetVolante.jp/ からサポートページにお進みください

●ネットボランチ・コールセンター
TEL 03-5715-0350
ネットボランチ・インターネット電話番号
TEL ##62594341

ご相談受付時間
9:00～12:00、13:00～17:00
（土・日・祝日、年末年始は休業とさせていただきます）

お問い合わせページ
http://NetVolante.jp/

WW39040

PRINTED WITH SOY INK

この取扱説明書は大豆油インクで印刷しています。
この取扱説明書は無塩素紙（ECF：無塩素紙漂白パルプ）を使用しています。

ヤマハ株式会社 （2010年9月 第1版）